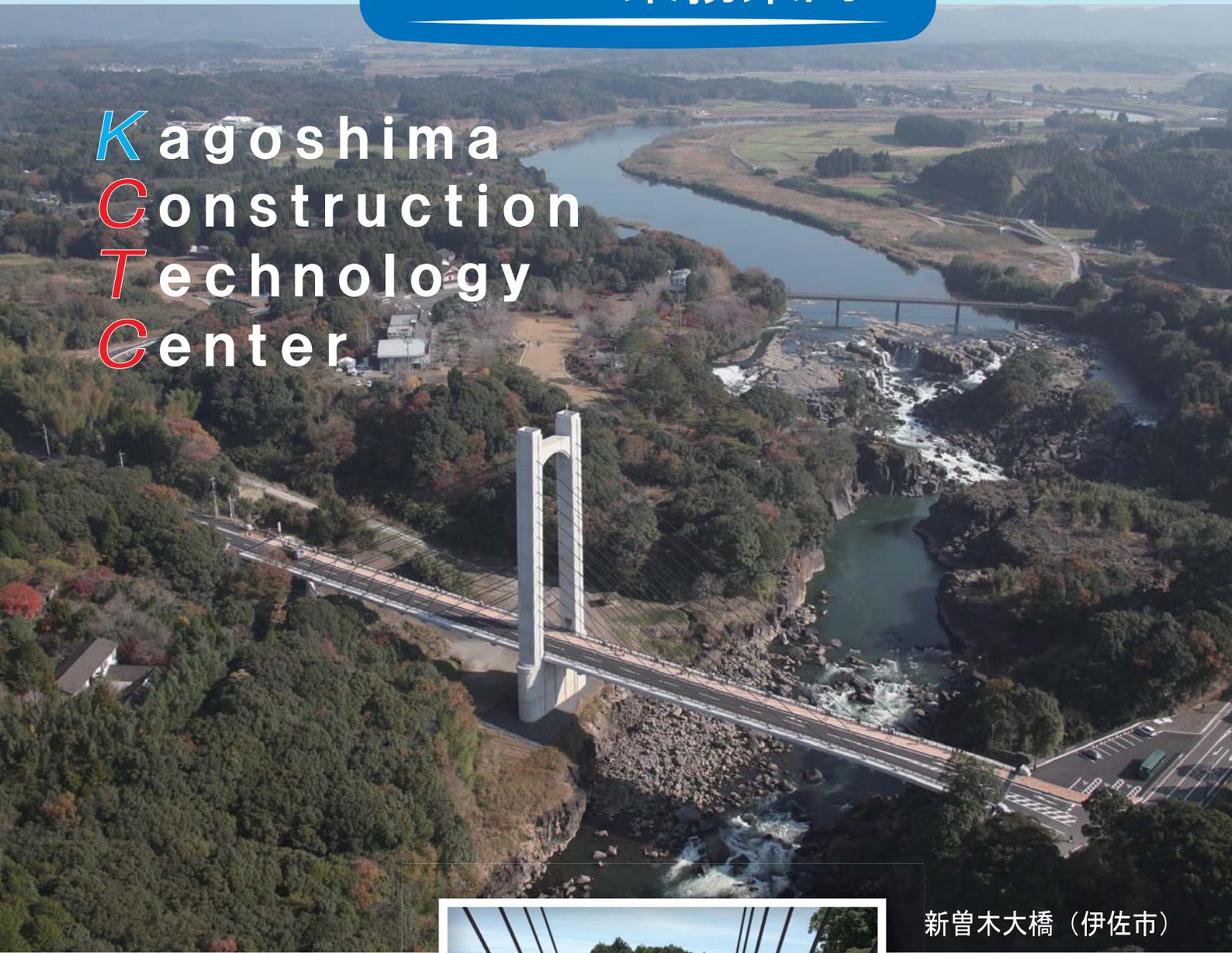


2012 業務案内

Kagoshima
Construction
Technology
Center



新曾木大橋（伊佐市）



ごあいさつ

公益財団法人鹿児島県建設技術センター
理事長 宇都 博美

当センターは、県内地方公共団体の建設行政の円滑かつ能率的な執行を支援するため、昭和50年7月に県が出捐して設立したものであり、これまで、建設に関する技術研修、広報、建設材料の品質試験、公共工事の積算・施工管理の受託並びに大規模災害時における人的・技術的支援など、発注者支援機関としての役割を果たしてまいりました。

当センターでは、このたびの公益法人制度改革に伴い、発注者支援機関として、これまで以上に社会資本の品質の確保と県民の福祉の増進を図るため、本年4月1日からは『公益財団法人鹿児島県建設技術センター』として、新たなスタートを切ることとなりました。

近年の建設行政を取り巻く環境は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」及び「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が施行され、発注者の責務はこれまで以上に大きくなってきています。

また、これから大量に更新時期を迎える橋梁をはじめとする公共土木施設の効率的・効果的な維持管理など、新たな課題への対応も求められています。

このような状況を踏まえ、当センターにおいては、発注者支援機関としてさらなる業務の充実を図るため、『公共工事の発注関係事務支援事業』、『公共土木施設の管理者支援事業』、『社会資本の整備を担う人材育成等支援事業』、『建設行政に係る研究・地域活動支援事業』の4つの事業を柱として、新たな展開を進めることとしております。

今後とも技術の向上に努め、公益財団法人移行後の諸々の情勢変化にも的確に対応できるよう体制を整えてまいりますので、皆様方の御協力と御支援を賜りますとともに、引き続き当センターを御活用いただきますようよろしくお願いいたします。

<表紙の紹介> 新曾木大橋(伊佐市)
 ・橋種：PC2径間連続斜張橋
 ・橋長：L=204m 幅員：W=10.5m(有効幅員)
 当センターは、新曾木大橋建設に係る積算・施工管理・施工体制点検調査の支援を行っています。また、昨年度は、当センター主催の「夏休み親子現場見学会」を始良・伊佐地域振興局協力の下開催し、多くの県民の皆さまに夏休みの思い出づくりと公共事業への理解を深めていただきました。



目的

すべての鹿児島県民が生涯を通じて安心して暮らすことができ、自らの人生やふるさとに夢と誇りを持てる、優しく温もりのある地域社会を目指し、社会資本の整備及び維持管理並びにそれらを担う人材の育成等の様々な建設行政に係る支援を行うことなどにより、快適で活力ある生活空間の形成を担う社会資本の品質の確保を図り、もって、広く県民の福祉の増進に寄与することを目的とする。

概要

名称	公益財団法人鹿児島県建設技術センター
設立年月日	平成24年4月1日 財団法人鹿児島県建設技術センターを名称変更し移行設立
基本財産	鹿児島県出捐 3,000千円
所在地	総務部・建設技術部 〒890-0073 鹿児島市宇宿二丁目9番3号 建設技術部試験研究班 〒890-0115 鹿児島市東開町1番地

評議員

(平成24年4月1日現在)

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 川畑 俊彦 (県建設業協会) | 平田 登基男 (鹿児島工業高等専門学校名誉教授) |
| 坂上 省悟 (県町村会) | 福田 光一 (県測量設計業協会) |
| 萩 亮 (鹿児島県土木部次長) | 山下 博美 (㈱鹿児島県頭脳センター専務取締役) |
| 萩元 美恵野 (公認会計士) | |

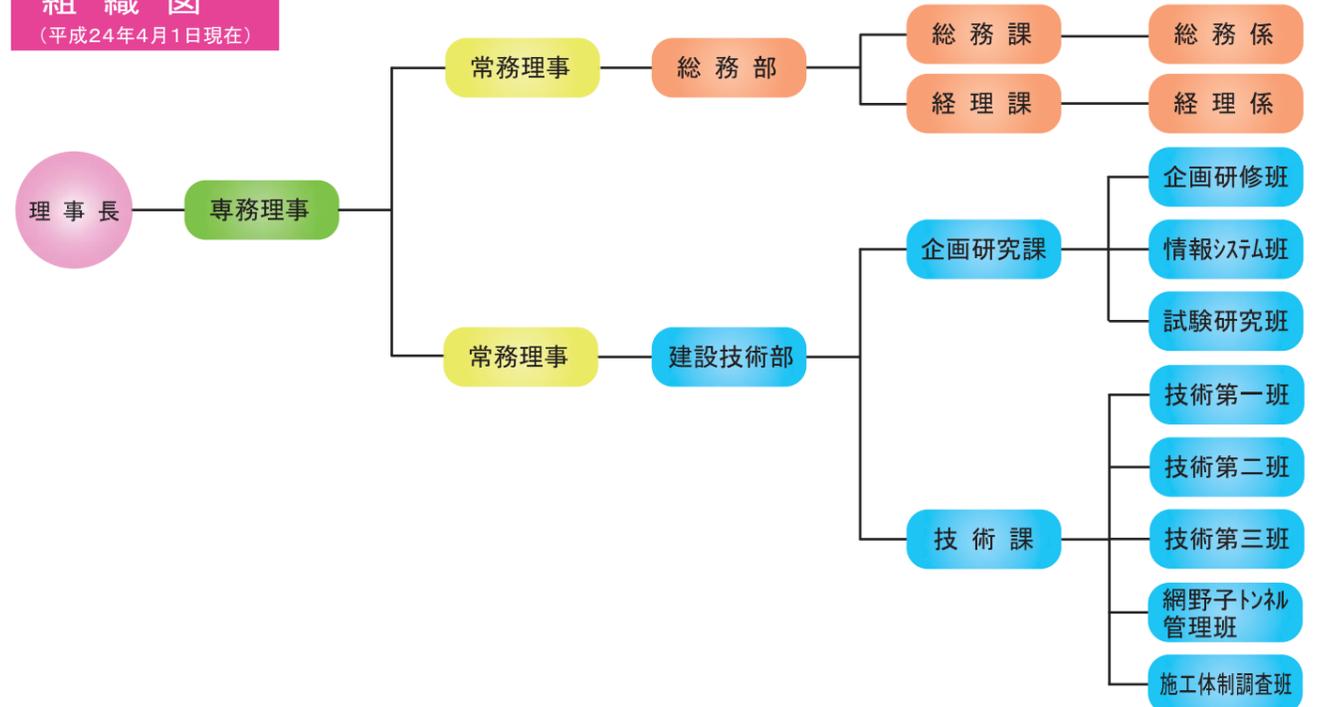
役員等

(平成24年4月6日現在)

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 理事長 宇都 博美 | 理事 堤 隆 (鹿児島工業高等専門学校教授) |
| 専務理事 矢崎 正人 | 理事 中島 喜久生 (県町村会) |
| 常務理事 兒玉 達美 | 理事 間世田 武裕 (県造園建設業協会) |
| 常務理事 畦地 守 | 理事 村岡 公範 (県技術士会) |
| 理事 岩井 健 (県建設コンサルタンツ協会) | 監事 上山 寛 (南九州税理士会鹿児島支部) |
| 理事 宇都 忠良 (県地質調査業協会) | 監事 瀬戸口 博昭 (県土木部 監理課長補佐) |
| 理事 北村 良介 (鹿児島大学大学院理工学研究科教授) | 参与 大塚 行則 (県土木部監理課技術管理室長) |
| 理事 辰田 幸三 (西日本建設業保証㈱鹿児島支店長) | |

組織図

(平成24年4月1日現在)



役・職員数

(平成24年4月1日現在)

区分	職員		非常勤等	計	
	事務	技術			
役員	理事長	1		1	
	専務理事	1		1	
	常務理事	1	1	2	
総務部	部長 (兼1)				
	課長	2		2	
	主幹	1		1	
	主査	1		1	
	主事	1		1	
	補助員			3	3
	計	7			7
建設技術部	部長	(兼1)			
	課長	2		2	
	技術補佐	1		1	
	技術主幹	4		4	
	班長	3		3	
	技術専門員	3		3	
	技術主査	6		6	
	技師	7		7	
	土木技術員等			17	17
	計	7	28	20	55

事業

<p>公共工事の発注関係事務支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 積算等事業 P4 施工体制点検等事業 P5 施工管理事業 P6~P8 電子化普及事業 P9 材料試験事業 P10~P11 	<p>公共土木施設の管理者支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共土木施設台帳整備事業 P12~P14 災害等緊急時支援事業 P15 	<p>社会資本の整備を担う人材育成等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修事業 P16~P17 広報事業 P18~P20 図書出版等情報提供事業 P21 土木資料室整備事業 P22~P23 	<p>建設行政に係る研究・地域活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域づくり助成事業 P24~P25
---	--	---	---



県及び市町村を対象に、公共工事発注用設計書の作成を、県土木部が作成した「県土木積算システム」を使用して支援しています。また、「県土木積算システム」用の歩掛データ等の改定業務についても、公正中立な立場で支援しています。

■積算業務



① 鹿島上飯線（藪牟田瀬戸3号トンネル）



② 大峯川（透過型えん堤）

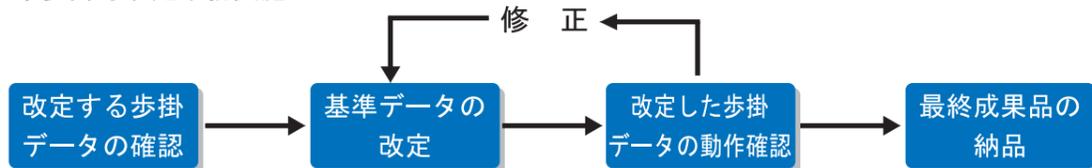


③ 北薩横断道路（泊野3号橋）



■県歩掛等改定業務

県歩掛等改定業務実施フロー



作業状況



打合せ状況

適正な元請・下請体制の下に、公共工事の品質を確保し目的物の整備が的確に行われるように、県が定める「施工体制点検要領」に基づき、施工段階において工事現場における施工体制の把握・調査を行う施工体制点検調査や、低価格入札案件において工事が適正であるかを常時監視する施工重点監視調査等について、公正中立な立場で支援しています。

■施工体制点検業務



下請負契約・主任技術者選任等の確認



掲示物（建設業許可票等）の確認



施工体系等の確認

公共工事については、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（平成12年法律第127号）」「公共工事の品質確保の促進に関する法律（平成17年法律第18号）」に基づき、適正な施工体制を確保するよう発注者及び受注者に対し求められています。

■重点施工管理業務



監視状況（切羽）



監視状況（覆工）



監視状況（モニター）



モニター画面

鹿児島県低入札価格調査実施要領

入札・開札

- ・調査基準価格の算定（第3条）
- ・調査基準価格未満の場合、落札者決定を保留（第6条）

低入札価格調査

入札契約手続運営委員会

- ・最低価格入札者から事情聴取、関係機関への照会等（第4条）
- ・調査結果の判定（第7条）
- ※履行可能と判断された場合

落札通知・契約

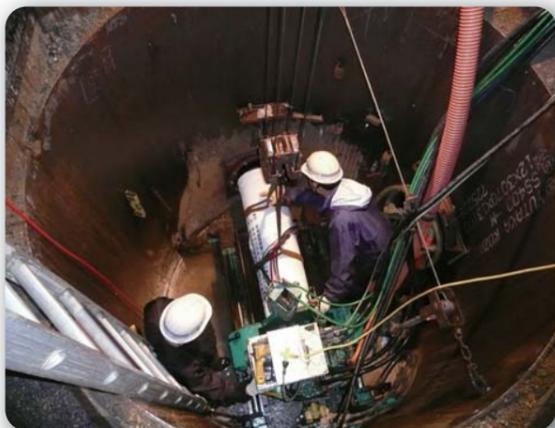
監督体制の強化

- 第10条 重点施工管理業務
- ・施工体制台帳の提出及びその内容の調査
 - ・施工計画書の内容の調査
 - ・重点的な監督業務の実施
 - ・労働安全担当部局との連携



県及び市町村の公共工事における品質確保を目的に、施工管理業務（施工計画書と設計図書との照合、工事施工状況の確認、完成検査への立会等）のうち、大規模で複数年にわたり継続するものや、経験の浅い行政職員に対するOJTを兼ねたもの、積算（変更を含む）から施工管理まで一括して行うものについて、公正中立な立場で支援しています。

■ 施工管理業務



① 鹿児島東市来線（電線共同溝整備工事）



② 南薩縦貫道（川辺道路）



③ 十二町海岸通り線（逆瀬川橋：指宿市発注）



④ 鹿島上甕線（藺牟田瀬戸架橋）



⑤ 北薩横断道路（北薩トンネル出水工区）



⑥ 北薩横断道路（泊野道路）



⑦ 米之津川（河川激甚災害特別緊急事業）



⑧ 国道267号（宮都大橋）

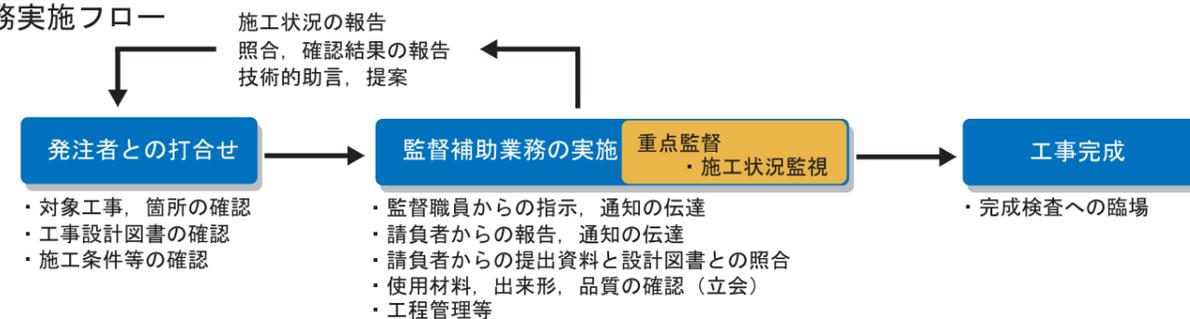


⑨ 伊集院蒲生溝辺線（石峯大橋）



⑩ 国道223号（妙見1号橋）

● 施工管理業務実施フロー





■施工管理業務



① 国道223号(小谷拡幅)



重点施工管理業務



② 都城隼人線(重久工区)



③ 都城志布志道路(中島大橋)



④ 国道58号(網野子トンネル)

●OJT(On the Job Training)研修について

当センターでは、現場経験の浅い行政技術職員や、橋梁建設や災害等の経験が少ない市町村等を対象に、OJT研修を兼ねた施工管理業務を行っております。平成23年度は、大和村において災害復旧工事に係るOJT研修を実施しております。詳しい内容等につきましては、当センター迄お問い合わせください。

県では、公共事業の一層の効率化を図るため、CALS/ECの導入と普及に取り組んでおり、当センターにおいても、公共工事に係る電子入札及び電子納品等について専門的な研修の実施や、「鹿児島県電子納品ガイドライン及び手引き」の改訂補助業務を行い、公共事業の電子化の普及を支援しています。

■CALS/ECの導入支援業務

CALS/ECのキーワード

- 情報の電子化
- 通信ネットワークの利用
- 情報の共有化



公共事業における業務の効率化
品質の向上
移動コストの削減

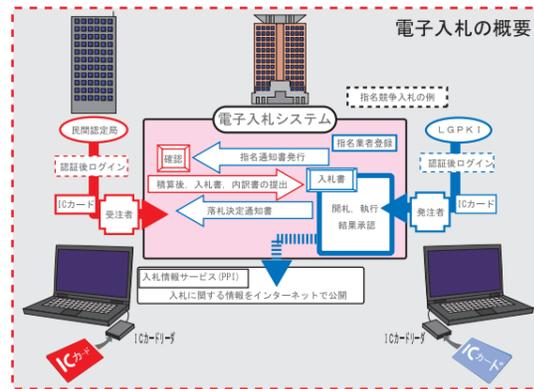


より高い品質の目的物のために

●鹿児島県のCALS/EC

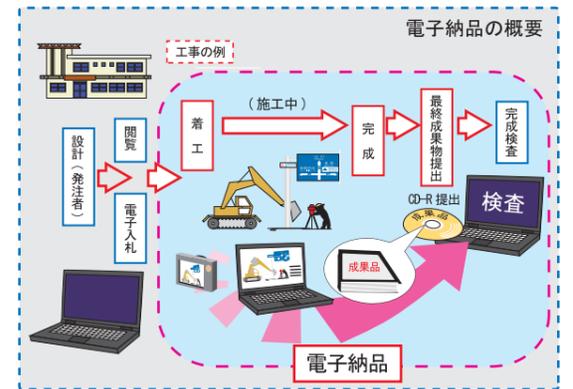
▲電子入札

- 入札会場に赴くことなく、コンピュータを介して入札を行うものです。
- 入札結果は、入札情報サービスで公開されます。



▲電子納品

- 調査、設計、工事など、公共事業の各業務段階の最終成果を電子成果品(CD-R)として納品することです。



●建設技術センターの主な支援内容

- ・電子入札システム導入プレゼン(市町村)
- ・電子納品研修(県, 市町村)
- ・鹿児島県電子納品ガイドライン(案)及び手引きの改訂補助



電子入札システム導入プレゼン状況(市町村)



電子納品研修状況(県, 市町村)

建設工事材料試験業務は、昭和31年度から、社会資本整備に係わる建設資材の品質確保を図るため県が直営で実施してきましたが、昭和59年度から技術センターが受託しています。

当センターの圧縮試験機は全自動デジタル型であり、JIS規格に合わせて載荷速度が設定されており、信頼性の高い試験結果が得られます。

また、JCSS（計量法校正事業者登録制度）登録機関による校正を受けており、国際的にも信頼性の高い機械となっています。

■材料試験受託内容

●試験業務のフロー

・試験申請書の受付
(申請者が申請項目を記入)

・試験の実施
①圧縮・曲げ試験
②碎石・砕砂・砂・石材

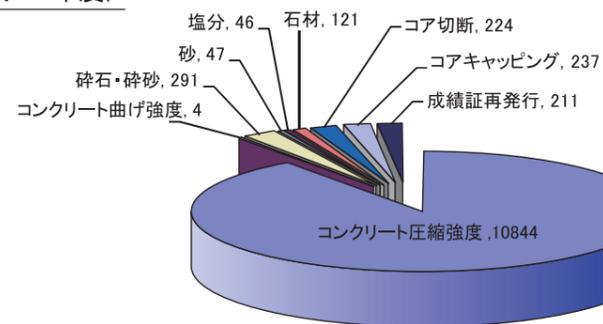
・成績証の発行

①については、申請当日に試験を実施し、成績証を試験後即時、交付する。
②については、試験申請受付から成績証交付迄7~10日間要する。

●試験の種類と参考規格

試験項目	参考規格
1) 密度・吸水率試験	JIS A 1109 & 1110
2) 単位容積質量試験	JIS A 1104
3) ふるい分け試験	JIS A 1102
4) 微粒分量試験	JIS A 1103
5) すりへり試験	JIS A 1121
6) 海砂の塩化物イオン試験	コンクリート標準示方書 (JIS A 5308)
7) コンクリート圧縮強度試験	JIS A 1108
8) コンクリート曲げ強度試験	JIS A 1106
9) コアの切断・キャッピング	JIS A 1107, JIS A 1132
10) 試験成績証再交付	

■材料試験件数（平成23年度）



■建設工事材料試験実地研修

県及び市町村職員を対象に、毎年、10月後半に実地研修を開催しています。
(H22:土質とCBR課程, H23:アスファルト配合設計課程, H24:土質とCBR課程予定)



講習風景（アスファルト課程）



実地研修風景（CBR課程）

■試験の紹介（例）



圧縮・曲げ強度試験



粗骨材のふるい分け試験



粗骨材のすりへり試験



粗骨材の単位容積質量試験



細骨材のふるい分け試験



細骨材の密度試験

■試験廃材利用促進の事例

当センターでは、試験済みの材料を無料でお分けします。
お分けできる材料は、石材、碎石、砂、コンクリート供試体です。
詳しくはセンターホームページでご確認ください。 <http://www.kago-kengi.or.jp/>



石材・テストピースの使用事例



碎石の使用事例



県及び市町村を対象に、公共土木施設の効率的・効果的な維持管理や地域住民等からの問い合わせに迅速かつ的確に対応するための統合的なデータベースの整備・運用を目指し、公共土木施設台帳等の電子化を支援しています。

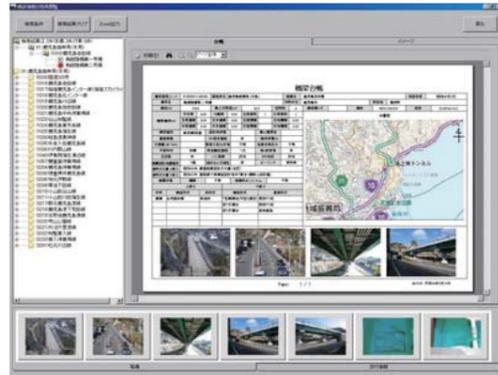
■台帳システム

各施設の情報や写真、図面、発注履歴、補修履歴などを一元管理するシステムです。

●メインメニュー



●基本情報の閲覧



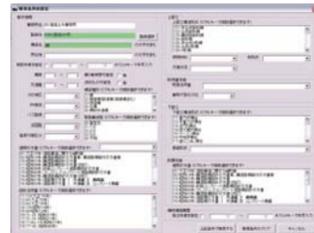
✓ 詳細情報の閲覧とは別に、簡易情報の閲覧にも対応
✓ 各施設を路線ごとのツリー構造等で分類し、分かりやすい表示

●写真の閲覧



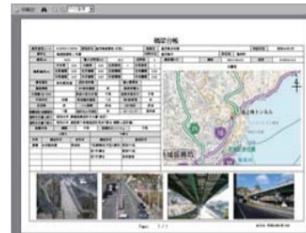
✓ 写真や図面の拡大表示機能により細部の確認が可能

●検索機能



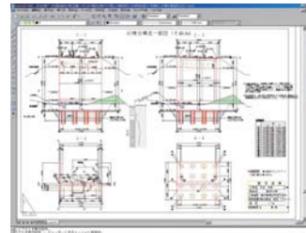
✓ 豊富な検索項目と複数項目による検索

●道路施設台帳の印刷



✓ 台帳検索結果を印刷し調査等への活用

●CADデータ



✓ 施設CADデータなど、他の図面に2次利用

■定期巡視点検管理台帳システム

専用のホームページ上から河川・砂防定期巡視点検の計画表、

●トップメニュー画面



●点検結果登録画面

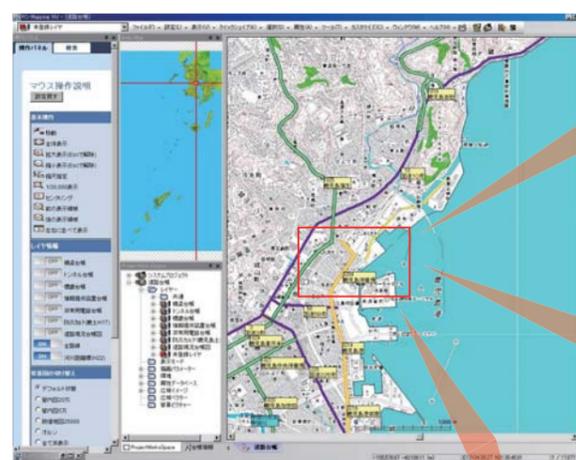


✓ 各管理施設の点検結果登録がWeb上で可能

■地理情報システム (WebGIS)

台帳システムに登録している各施設の位置を地図上に表示し、施設情報の間に関覧や検索機能による位置の特定を行なうシステムです。

●メイン画面



●標識情報



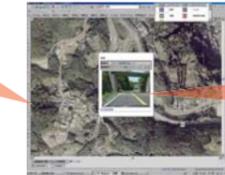
✓ 地図上のアイコンから施設情報を表示

●道路標識台帳



✓ 施設情報のアイコンから台帳を表示

●動画の表示



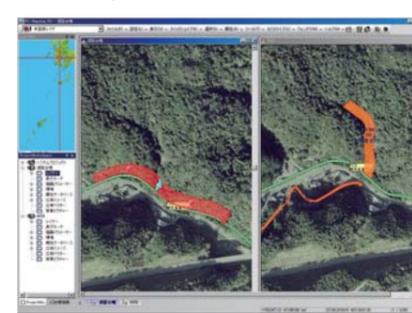
✓ 写真等による施設の概要以外に動画の表示も可能

●拡大画面



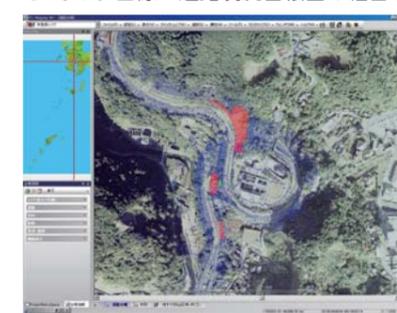
拡大

●並べて表示



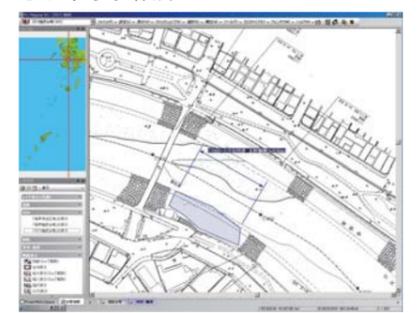
✓ 複数の台帳を並べて表示可能

●オルソ画像・道路現況台帳図の組合せ



✓ 背景図にオルソ画像（航空写真）と道路現況台帳図を組み合わせることによって、よりリアルな背景図表現が可能

●スケッチ作成



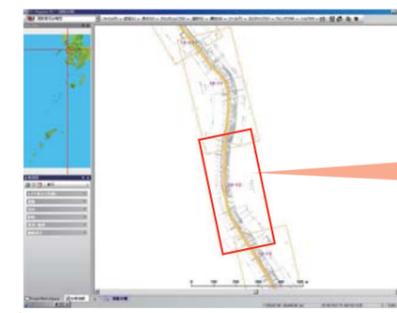
✓ 作成したスケッチは画像データとして保存可能

●検索・発注履歴確認・図面ダウンロード機能

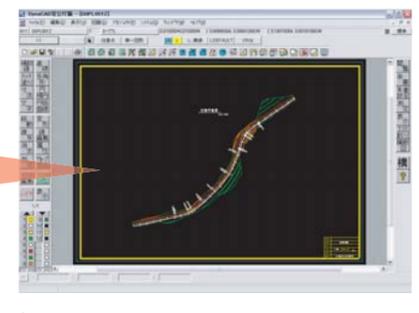


✓ 簡易検索により、閲覧したいマップへ即ジャンプ
✓ 発注履歴の確認・図面ダウンロード機能

●現況台帳図等の2次利用



✓ 地図を拡大すると道路現況台帳図を表示



✓ 登録している道路現況台帳図のデータを他の図面に利用できる

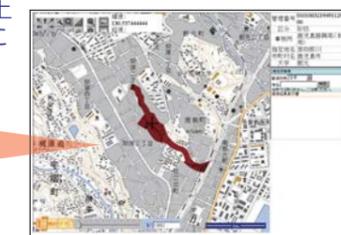
点検結果の入力や閲覧を行なうシステムです。

●状況写真画面



✓ 複数枚の点検写真をWeb上で登録できるので、容易に状況の把握などが可能

●施設位置画面（電子国土Web）



✓ 各施設の位置を示した地図を国土院の電子国土Webを利用して閲覧可能

県では、九州新幹線全線開通を機に魅力ある観光地づくりを進めており、これを支援するために「観光かごしまサイン整備調査」を行い、道路案内標識と連携した観光案内標識の提案を行っています。

観光かごしまサイン整備



整備事例（道路案内標識）

整備事例（観光案内標識）



大規模災害等が発生した際に、国の災害査定に当たって、県や市町村の行政職員だけでは、人手不足等に対応が困難な場合の、復旧工法協議や査定設計書の作成、査定時の説明補助等における職員の派遣、また、県の支援要請を受けて災害調査等を実施したボランティア団体に経費の助成を行っています。

災害復旧支援（県内）

●23 災第 612 号 橋梁災害復旧工事 千田袋橋（龍郷町）

●22 災第 539 号 橋梁災害復旧工事 踊橋（曾於市）



被災状況



災害査定臨場状況



被災状況



完成

主な災害支援実績

年度	県市町村名	工種	主な支援内容
18	大崎町	橋梁	災害査定設計書作成, 災害査定臨場
19	南大隅町	橋梁	災害査定設計書作成, 災害査定臨場, 実施設計書作成
21	県	河川	実施設計書作成
22	大和村	道路・河川	実施設計書作成
22	曾於市	橋梁	災害査定設計書作成, 災害査定臨場, 実施設計書作成
23	龍郷町	橋梁	災害査定設計書作成, 災害査定臨場, 実施設計書作成

災害復旧支援（県外）

当センターは、技術力向上などを目的とし、全国各道府県における「全国建設技術センター等協議会」（全技協）に所属し、大規模な災害が発生した場合に、被災道府県のセンター等からの要請に基づき、職員を派遣し応援する協定を結んでいます。

当センターは、全技協会員として、東日本大震災と新潟・福島豪雨災害における災害復旧に、職員を派遣しています。

災害調査等助成

当センターは、平成 22 年度に発生した「奄美豪雨災害」において、NPO 法人かごしま河川ボランティア協会による「奄美豪雨災害に係る被災調査」に対して経費の助成を行っています。



（財）新潟県建設技術センター
長岡支所宮内分室
（新潟・福島豪雨災害復旧への支援）



（財）ふくしま市町村建設支援機構
（東日本大震災復旧・復興への支援）



NPO 法人 かごしま河川ボランティア協会
による河川氾濫調査実施状況



地方公共団体職員及び建設業界関係者を対象に、質の高い社会資本の整備を担う人材を育成するために、県土木部及び市町村社会基盤整備推進協議会と共催で、研修、発表会、講習会等を実施しています。研修は、CPD（継続教育）制度のプログラム認定を受けた研修や一般県民にも開放したものなど幅広く実施しています。

■研修実施予定（平成24年度）

番号	研修名	研修内容	場所	対象者
			時期	
1	土木施設災害対策研修	災害実務研修(計画・査定等の演習)	奄美市役所,自治会館	県,市町村
			4月16日~17日,5月11日	
2	土砂災害防止の集い2012	これからの防災についての啓発活動	自治会館	県,市町村,民間
			5月8日	
3	電子入札研修	電子入札システムの操作研修	建設技術センター	県,市町村
			5月9日~25日(8回)	
4	建設技術研修会	建設行政に係る新たな課題等について外部講師による講演等	自治会館	県,市町村
			6月1日	
5	電子納品研修	電子納品操作研修	建設技術センター	民間
			6月21日~22日	
6	新技術・新工法に関する技術講習会	新技術・新工法の紹介等	奄美建設会館,自治会館	県,市町村,民間
			7月5日,7月13日	
7	土木部技術職員研修	専門別研修	自治研修センター	県,市町村
			7月,10月,11月	
8	道路防災に関する技術講習会	道路防災意識の向上,技術力向上等を目的とした講習	自治会館	県,市町村,民間
			8月20日	
9	出前研修会	現場管理における技術力向上を目的とした研修	大隅・大島	県,市町村
			10月~11月(2回)	
10	橋梁概略点検現場研修会	橋梁点検に関する講習と実施	熊毛・大島	県,市町村
			10月~11月(2回)	
11	建設技術発表会	若手職員の技術力及びプレゼンテーション力向上	自治会館	県,市町村,民間
			11月2日	
12	災害復旧実務研修	査定実務研修(調査・測量・計画・査定の実地研修)	振興局及び支庁	県,市町村
			11月(2回)	
13	全建クラブを活用した現場力研修	現場管理等の実務研修	振興局及び支庁	県,市町村
			未定	
14	橋梁現場研修会	現場体験による技術の向上	始良伊佐	県,市町村
			1月下旬	

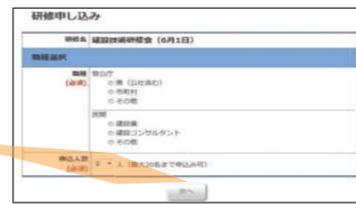
■研修申込案内 <http://www.kago-kengi.or.jp/>



✓ 当センターHPのTOP画面「研修申し込み」をクリック



✓ 研修一覧から「申込」ボタンをクリック



✓ 専用のシステムが起動し、研修申込ができます

■研修状況（平成23年度）



土砂災害防止の集い



建設技術研修会



新技術・新工法に関する技術講習会



電子納品研修



建設技術発表会



災害復旧実務研修



県においては、県民とのパートナーシップによる地域づくりを推進するため、地域の方々や将来を担う子供たちへ自分たちの地域がどのように変わるのかなど、公共事業をもっと理解してもらう広報活動を行っています。

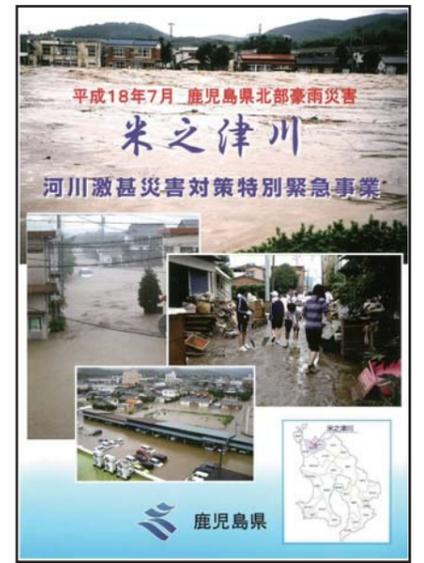
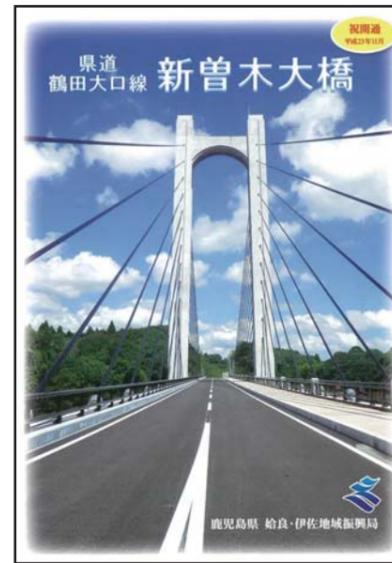
当センターにおいては、これらの活動を支援するため、各種パンフレットや啓発ポスターの作成などを行っております。また、当センターの自主企画として「夏休み親子現場見学会」や、今年度から新規事業として「土木デザインフォトコンテスト」を実施することとしております。

■広報実施予定（平成24年度）

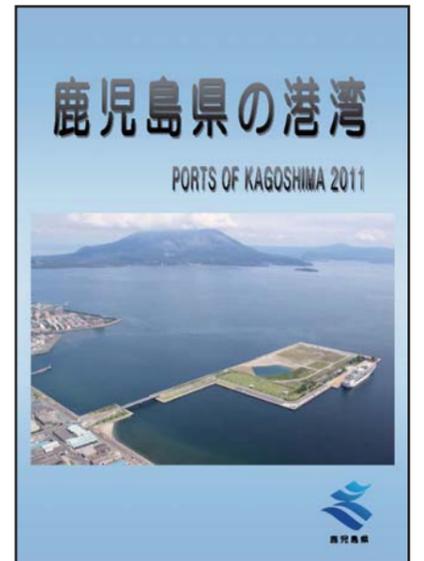
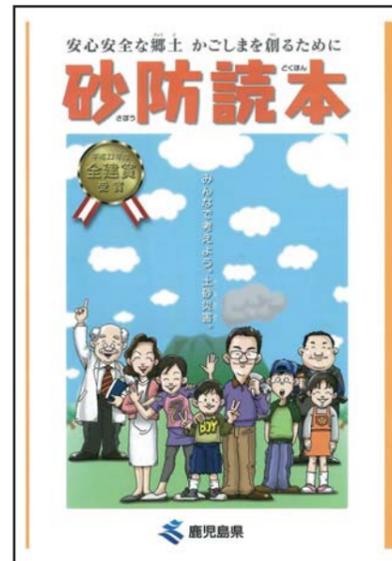
番号	広報の名称	広報内容	広報対象
1	河川愛護運動	・ポスター及びリーフレット作成 ・作業用軍手配布	県内の行政・教育機関
2	砂防メールかごつま	『砂防メールかごつま』作成	県内外の行政機関
3	鹿児島県の道路2012	広報パンフレット作成	県内外の行政機関
4	土砂災害防止月間推進事業	PR用チラシ、PR用品作成	県民
5	本県地域づくり事業の現地見学会	地域の方々を対象に現場見学会等の支援	県民
6	かごしまの河川・海岸2012	管内図兼用広報パンフレット作成	県内外の行政機関
7	米之津川激甚災害対策特別緊急事業	事業概要パンフレット作成	県民
8	瀬戸内事務所管内事業紹介	管内の事業紹介パンフレット作成	県内の行政機関
9	大美川・戸口川河川改修事業	事業概要パンフレット作成	県民
10	万之瀬川こせ渓谷周辺景観環境整備事業	事業概要パンフレット作成	県民
11	夏休み親子現場見学会	建設事業現場見学会等の開催	県民
12	土木デザインフォトコンテスト	フォトコンテストの開催	県民
13	県土木部 道路トンネル工事誌（平成24年度版）	トンネル工事報告書作成	県内の行政機関
14	地域高規格道路「都城志布志道路」	事業概要パンフレット作成	県民
15	道路ボランティア活動の普及・啓発	・「ふるサポ通信」作成 ・「ふるサポ普及啓発用ポスター」作成	県内の行政機関
16	鹿児島県砂防読本作成プロジェクト	砂防読本作成	県内の教育機関
17	ふるさと砂防サポート推進事業	啓発用ポスター及びチラシ作成	県内の行政機関
18	建設事業イメージアップ向上事業	パネル展示等（鹿児島地区土木フェスタ）	県民
19	甲突川リバーフロント整備事業	事業概要パンフレット作成	県内の行政機関
20	奄美豪雨災害記録集	H22、H23に発生した豪雨災害記録集の作成	県内の行政機関
21	砂防事業等啓発	事業等啓発パンフレット作成	県内外の行政機関

■広報事例（平成23年度）

●パンフレット



●冊子



●ポスター、地図、DVD



社会資本の整備を担う人材育成等支援事業

社会基盤整備の取組について、将来を担う子供たちをはじめ、広く県民に知って頂くために、国や県が施工している工事現場を見学してもらい、公共事業への親しみと理解を深めてもらうとともに、今後の地域づくりについて関心を持ってもらうことを目的に平成23年度から実施しています。

■夏休み親子現場見学会

鹿兒島ルート

- 新曾木大橋 (PC2 径間連続斜張橋)
- 丸池湧水 (シラス溶融スラグレンガを利用した公園整備)



大隅ルート

- 中島大橋 (PC3 径間連続箱桁橋)
- 志布志港新若浜地区 (港湾整備事業)



●募集案内ポスター



県民の「安心・安全な暮らし」や「豊かで快適な生活」を支えている道路、河川、港、ダム等の「土木施設」について、自然豊かで美しい風景に調和した『かごしまの土木デザイン』としての新たな魅力を、カメラをとおして引き出してもらうことを目的に平成24年度から実施しております。

■土木デザインフォトコンテスト

●募集概要

- (1) テーマ ~自然豊かで美しい風景に調和した「かごしまの土木デザイン」~ (県内の「土木施設」を風景と一緒に撮影したもの)
- (2) 作品 カラー、モノクロプリントで「四つ切り」、「ワイド四つ切り」、「A4判」の単写真

●応募資格

県内に在住の方であれば、どなたでも応募可。応募は撮影者本人に限ります。

●参加費用

無料。ただし、応募時の写真プリント代や作品送料等は、応募者の負担となります。

●募集期間

平成24年5月7日(月)～9月28日(金)

●表彰・賞

- 最優秀賞(1点): 盾, 副賞(賞金5万円)
- 優秀賞(2点): 盾, 副賞(賞金2万円)
- 入賞(5点): 盾, 副賞(賞金5千円)



●募集案内ポスター

※詳細は、当センターHP <http://www.kago-kengi.or.jp/> でご確認ください。

県及び市町村の技術職員や建設業関係の技術職員の方々を対象に、県土木部の監修による「土木工事施工管理基準」や「砂防事業設計積算基準」等の建設技術等に関する土木関係図書の出版や、「各種事業の手引き」などマニュアルについては、県土木部所管課や出先機関の職員、民間技術者によるワークショップ形式での作成を事務局として支援しています。また、当センターで開発した「土工・土積計算システム」の販売や、市町村に対して公共工事の積算で使用する「鹿児島県土木積算システム」の歩掛データ等の提供を行っています。

■図書出版

●販売中の図書

- ① 砂防事業設計積算基準……………平成20年 6月発行
- ② シラスを細骨材として用いるコンクリートの設計施工マニュアル(案)……………平成18年 1月発行
- ③ 土木工事施工管理基準……………平成17年 4月発行
- ④ 鹿児島県溪流環境整備計画(CD版) ……平成15年 3月発行
- ⑤ 「石橋記念館」展示解説書……………平成12年 8月発行
※平成24年1月からは、当センターの広報事業で作成した「西田橋解体復元の記録DVD」をセットで販売しております。
- ⑥ 「美しい山河を守る災害復旧事業」に関する手引き(案)CD付……………平成12年 6月発行



●図書販売システムの紹介 <http://www.kago-kengi.or.jp/>



✓ 当センターHPのTOP画面「図書申し込み」をクリック



✓ 専用のシステムが起動し、図書購入ができます。

■基準書作成

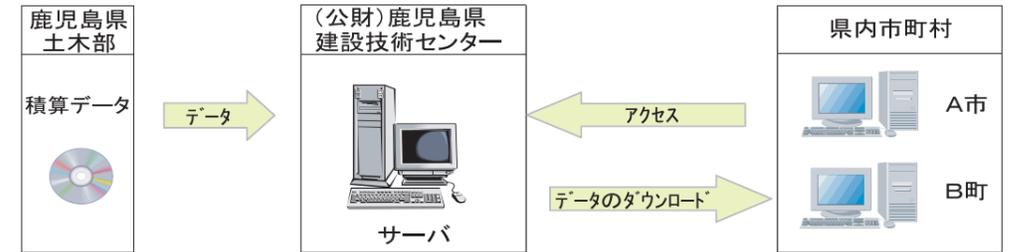
- 平成23年度は、「河川事業設計基準書」の作成を事務局として支援しました。

(写真は、検討部会の状況)



■歩掛データ等提供

●市町村等土木積算基準データネットワークシステム





建設行政の効率的執行や、建設技術者の知識・技術力の向上を目的として、当センターの自主事業として土木資料室を整備し、センターで一元管理した県の建設行政に係る資料等を、建設行政に携わる関係者をはじめ広く県民に閲覧・貸出するものです。また、県内の地盤情報データについても閲覧可能となっております。

■建設行政資料



✓ 当センターHPのTOP画面「土木資料室」をクリック

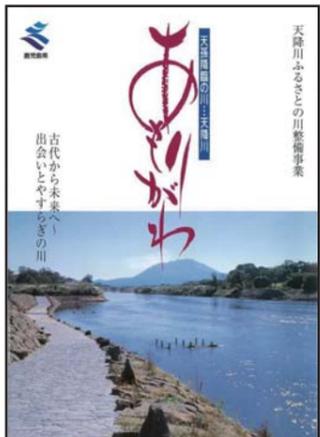


✓ 利用規約に同意したうえで「閲覧する」をクリック



✓ 「表紙」または「PDF」が選択できます。

● ✓ 「表紙」を選択した場合



✓ パンフレット等の表紙のイメージ画像が閲覧できます。

● ✓ 「PDF」を選択した場合



✓ パンフレット等のPDFデータの閲覧や、ダウンロードができます。

● 建設行政資料については、当センターHP (<http://www.kago-kengi.or.jp/>) で「表紙」のイメージは全て閲覧できますが、「PDF」については、一部公開していないものがありますので、ご了承ください。

■トンネル貫通石・貫通枛

当センターの土木資料室では、県内におけるトンネルの貫通石・貫通枛の収集を行っています。貴重な土木資料として、今後も収集・保管に努めます。

●貫通枛



●貫通石



■地盤情報データ

「かごしま地盤情報閲覧システム」は、県土木部から提供のあったボーリング調査に関する情報を、平成24年から当センターのHP上で一般公開しています。



✓ 当センターHPのTOP画面「地盤情報データ」をクリック



✓ 「利用規約に同意する」をクリック

- ・ TOP画面の地盤情報データをクリックすると「かごしま地盤情報閲覧システム」が起動。
- ・ 現在約1900件の情報を登録。



✓ 閲覧したい地点をクリック

- ・ Google Map上にボーリングデータ登録地点をアイコンで表示
- ・ 地図の拡大、縮小はGoogle Mapの機能と同様であり、また、地図の移動は画面右上のサブマップがメインマップと連動するため、操作性に優れます。



✓ 調査件名、調査位置、調査期間、柱状図の情報が表示
出力ボタンをクリック



✓ サブマップを開いて全画面での表示も可



✓ Street View機能も利用できます。

ボーリング柱状図									
調査位置	鹿児島県小瀬町宮地内								
調査期間	平成21年10月11日～平成21年10月11日								
孔口標高	36.72m	北緯	31° 02' 36.2104"	東経	130° 01' 25.2567"	傾斜	0°	方位	0°
総掘り深	5.00m	掘り	130° 01' 25.2567"	傾斜	0°	方位	0°	標準貫入試験	
標準貫入試験	深	貫入	貫入	貫入	貫入	貫入	貫入	貫入	貫入
貫入	貫入	貫入	貫入	貫入	貫入	貫入	貫入	貫入	貫入

✓ ボーリング柱状図が表示

- ・ ボーリング柱状図は、閲覧はもちろんのこと、PDF等への出力もできます。

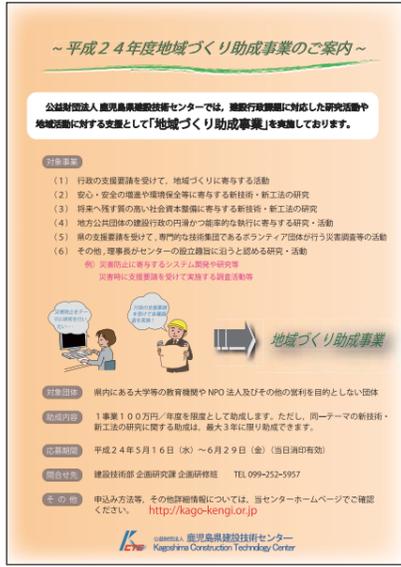
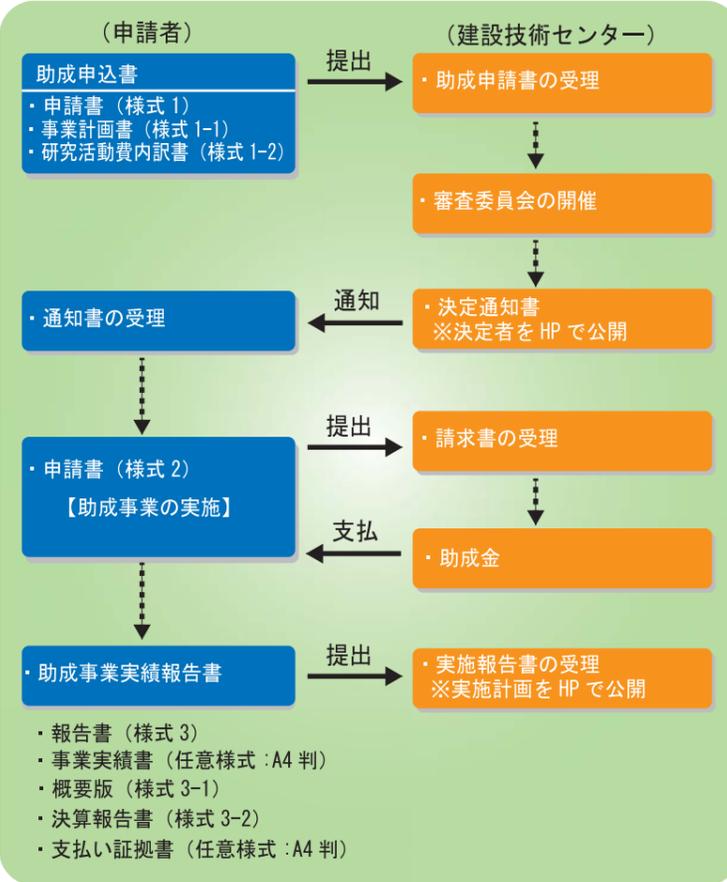


行政の支援要請を受けた地域づくりに寄与する活動や、安心・安全の増進や環境の保全等に寄与する新技術・新工法の研究など、建設行政の課題に対応した「研究活動」や「地域活動」を支援しております。

■ 事業概要

- 応募できる団体
 - 県内にある大学等の教育機関や NPO 法人及びその他の営利を目的としない団体
- 対象となる事業
 - (1) 行政の支援要請を受けて、地域づくりに寄与する活動
 - (2) 安心・安全の増進や環境保全等に寄与する新技術・新工法の研究
 - (3) 将来へ残す質の高い社会資本整備に寄与する新技術・新工法の研究
 - (4) 地方公共団体の建設行政の円滑かつ能率的な執行に寄与する研究・活動
 - (5) 県の支援要請を受けて、専門的な技術集団であるボランティア団体が行う災害調査等の活動
 - (6) その他、理事長がセンターの設立趣旨に沿うと認める研究・活動
- 助成金額

1 事業 100 万円を限度とします。ただし、同一テーマの新技術・新工法の研究に対する助成は、最大 3 年に限り助成できるものとし、助成金の額は、各年度 100 万円を限度とします。
- 実施フロー



● 募集案内チラシ (平成 24 年度)

● 要綱、申請書類等は、当センター HP からダウンロードできます。
<http://www.kago-kengi.or.jp/>

● 過去の助成実績 ・ 平成 23 年度事業分から当センター HP で概要版の閲覧ができます。

● HP の紹介



● 助成実績 (件数)

年 度	件 数
平成 18 年度	3 件
平成 19 年度	2 件
平成 20 年度	2 件
平成 21 年度	5 件
平成 22 年度	3 件
平成 23 年度	6 件
合 計	21 件

● 助成実績 (団体) : 抜粋

- ・ 鹿児島大学 (工学部, 農学部)
- ・ 鹿児島工業高等専門学校
- ・ NPO 法人 鹿児島県砂防ボランティア協会
- ・ NPO 法人 かごしま河川ボランティア協会
- ・ 社団法人 鹿児島県地質調査業協会



■ 平成 23 年度事業実績

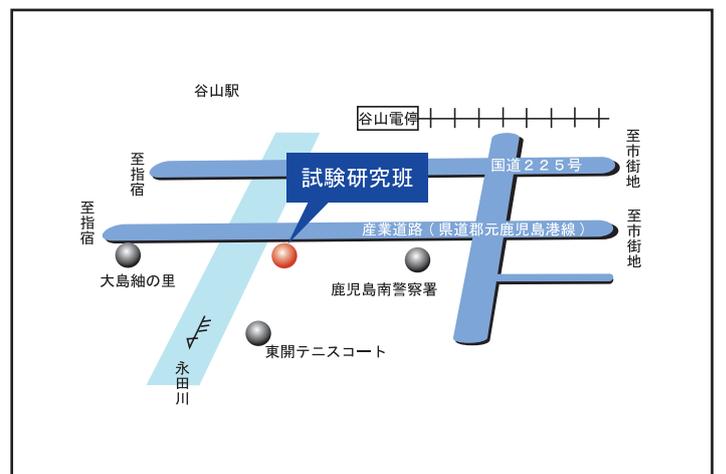
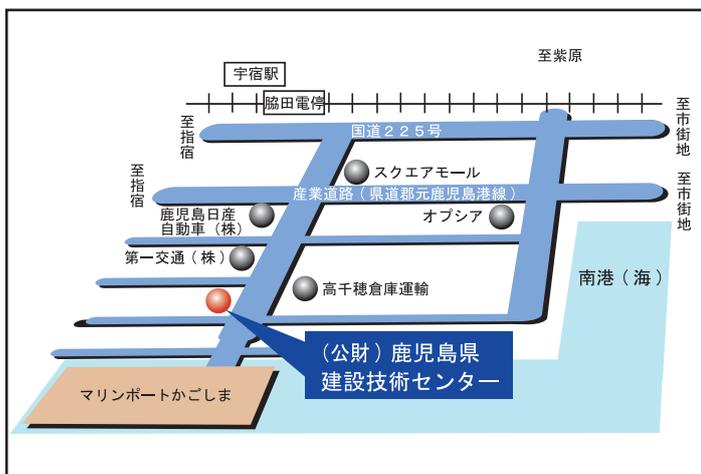
番号	決 定 者	活動・研究テーマ
1	鹿児島工業高等専門学校 前野 祐二 外 9 名 (共同研究)	鹿児島県下に分布するシラスを原料とした環境負荷低減型混合剤の開発
2	鹿児島大学工学部 山本 健太郎 外 3 名 (共同研究)	新燃岳火山噴出物を有効活用した低環境負荷型高機能地盤材料の研究
3	NPO 法人 砂防ボランティア協会	県民と行政のパートナーシップによる地域づくり
4	鹿児島大学農学部 平 瑞樹 外 3 名 (共同研究)	ヒートアイランド現象を緩和する軽量被覆ブロック材の開発
5	鹿児島大学工学部 北村 良介 外 2 名 (共同研究)	鹿児島版地盤情報データベース開発
6	鹿児島県コンクリート製品協同組合	シラスコンクリートを活用した新たな製品開発



鹿児島県建設技術センター



※ 写真撮影方向



(公財) 鹿児島県建設技術センター

〒890-0073 鹿児島市宇宿二丁目9番3号
 (総務部) TEL: 099-252-5577
 FAX: 099-252-5388
 (建設技術部) TEL: 099-252-5957
 FAX: 099-252-5377

アクセス 宇宿駅から徒歩14分
 脇田電停から徒歩12分



試験研究班 (建設工事材料試験室)

〒890-0115 鹿児島市東開町1番
 TEL(FAX): 099-268-5708
 アクセス 谷山駅から徒歩14分
 谷山電停から徒歩11分

ホームページアドレス

<http://www.kago-kengi.or.jp/>

E-mailアドレス

info@kago-kengi.or.jp